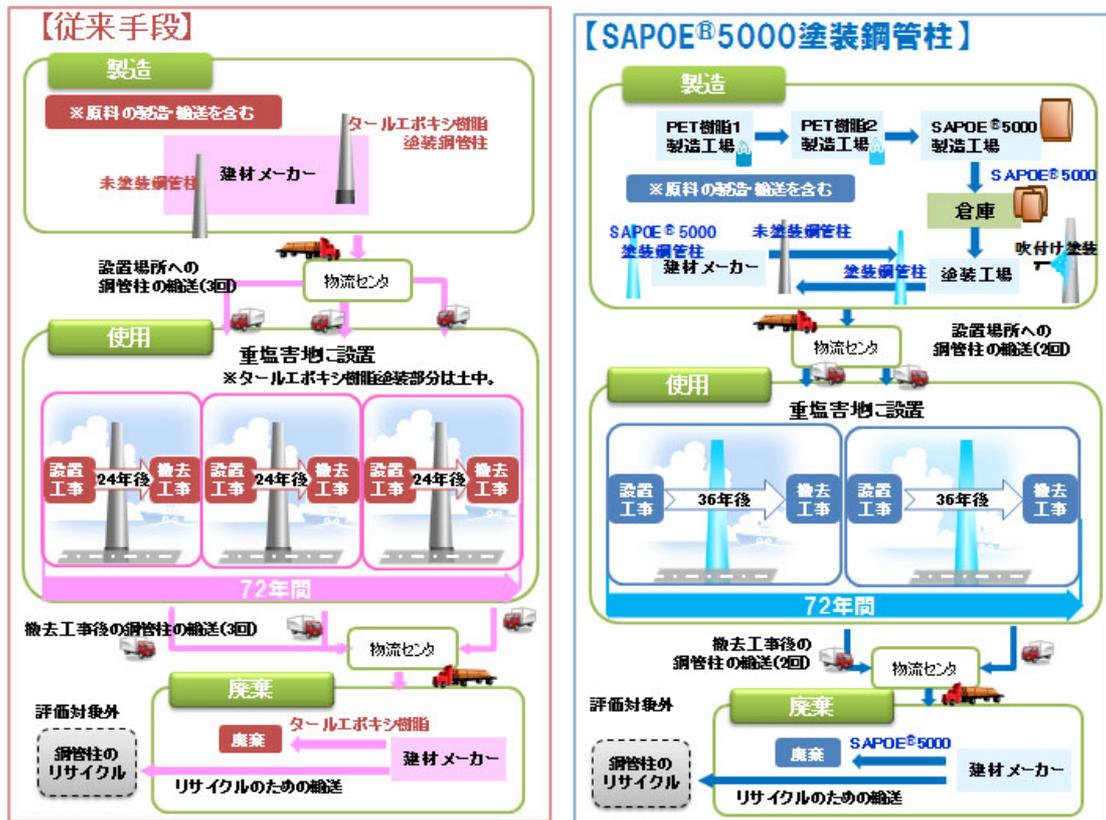


Type II 環境ラベル「AT-ECO」対象商品 SAPOE

モデルと評価条件

モデル



- 従来手段：全体に亜鉛めっき塗装を行い、地中部分にタールエポキシ樹脂塗装を行った鋼管柱。72年間に3本を使用、3回の設置撤去工事を行う。
- SAPOE®5000 塗装鋼管柱：全体に亜鉛めっき塗装と「SAPOE®5000」の塗装を行った鋼管柱で、72年間に2本を使用、2回の設置撤去工事を行う。

評価条件

重塩害地域※において 72 年間通信線を支持する機能を維持し、設置した鋼管柱の 1 年間あたりの運用の評価を行う。

- 評価範囲： 原材料調達工程、製造工程、輸送工程、使用工程、廃棄工程、各工程の輸送も含む。なお、鋼管柱のリサイクル工程は評価対象外とした。
- 耐用年数(重塩害地域に鋼管柱を設置した場合)：「SAPOE®5000」を塗装した鋼管柱は 36 年間、従来の鋼管柱は、耐用年数が 24 年。

※重塩害地域： 海岸線から内陸に 500m 以内の地域

評価結果



グラフは、従来システムの CO₂ 排出量を 100%として、割合を表しています。